



平成28年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 6月号

みやがや

<学校教育目標>

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】

【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】

【体】 お互いの生命と体を大切に、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】

【公・開】さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしなが、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。

【かかわり合い】

食育

学校長 奈良輪 孝雄

6月は、「給食だより」に書かれているように、食育月間です。

平成17年年に施行された「食育基本法」の前文に次の一文があります。

**子どもたちが豊かな人間性をはぐみ、生きる力を身に付けていくためには、
何よりも「食」が重要である。**

また同法律では、食育を生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けています。文部科学省も平成18年には、「早寝早起き朝ごはん」国民運動を提唱しています。

宮谷小学校でも、「食育」を大切にしています。宮谷小学校では、「健康科」を平成17年に創設し「食」「体」「心」の3つの領域で健康教育を展開しています。「食を見つめ、食の大切さが分かり、健康な食生活を実践しようとする子」の育成をめざしています。

昨年度実施した「学力学習状況調査」の生活意識調査の「朝食は食べますか。」の質問に対し、「毎日食べる」と回答した児童が85%でした。宮谷小学校の朝の活動が始まる時刻は「8時20分」です。「8時20分」から元気に活動できるようにするために、必要なのは「朝ごはん」です。一日3回の食事の中で「朝ごはん」はメダルに例えると「金メダル」と言われます。その理由は、一日の生活をスタートさせる朝、体を目覚めさせ、エネルギーをつくり、よく考え正しい行動ができる「元気のもと」をつくる大事な役割をしているのが「朝ごはん」からです。「朝ごはん」は、歯をしっかりと使って噛みしめて食べることが大切です。何より、朝からしっかり「朝ごはん」をとって、体全体にエネルギーを満ちあふれさせ、活発に体が動くことができるようにしておくことは、けがや病気になりにくいしっかりした体をつくるもとになります。「朝ごはん」をしっかりとお腹に入れて、元気に登校する子どもたちの笑顔と「おはようございます。」は元気いっぱいです。

宮谷小の食育は、「野菜となかよし」「昔から伝わる行事食」「和食のよさ」「赤黄緑の食物パワー」など多くのことを学んでいます。食育は、学校だけでは完結しません。家庭や地域の皆様の理解が重要です。宮谷小の素晴らしさは保護者や地域の皆様の協力を得られていることです。今後も子どもの将来のために、学校と家庭と地域がより一層連携を図り、子どもの教育を進めてまいりたいと思います。

今月もよろしくお願ひ申し上げます。

